

[様式10]

事業報告書

2026年(令和8年) 3月31日

福山市長様

住所 福山市春日町3丁目6-17

団体名 春日学区まちづくり推進委員会

代表者名 委員長 高橋 淳

2025年(令和7年)4月1日付け(福東地 第1号の4)で交付決定のあった福山市地域まちづくり推進事業を次のとおり実施しました。

事業名

春日学区地域まちづくり推進事業

実施場所

春日交流館・春日小学校ほか

事業費

2,510,558円

補助金額

1,902,000円

着手年月日

2025年(令和7年) 4月 1日

完成年月日

2026年(令和8年) 3月31日

実施事業の経過及び内容

別紙事業内容報告書のとおり

事業成果

別紙事業内容報告書のとおり

添付書類

- ① 収支決算書
- ② 事業内容報告書
- ③ その他市長が必要と認める書類(監査結果の写し)

〔様式11〕

収 支 決 算 書

〔収入の部〕 春日 学区 (町・地区) まちづくり推進委員会 (単位:円)

収入科目	予算額	決算額	内 訳
市補助金	1,902,000	1,902,000	市補助金(地域まちづくり推進事業補助金)
団体負担金等	685,500	608,084	共催団体(自治会連合会104,456円・防犯組合連合会10,700円) 共催団体(自治連87,531円・体育会176,270円・福祉を高める会30,000円・東町内会171,138円) 共催団体(単位自治会町内会59,224円)
雑収入	0	1,039	利息
繰越金(前年度)	127	127	
合 計	2,587,627	2,511,250	608,084

〔支出の部〕

事業番号	事業名(内容)	予 算 額			決 算 額			内 訳
		事業費	市補助金	団体負担金等	事業費	市補助金	団体負担金等	
1	安心、安全事業	460,500	348,000	112,500	514,446	399,290	115,156	機断製作成費、振込手数料、記念品、カセットガス専用発電機、避難所開設キットほか
2	ふれあい事業	1,220,000	755,000	465,000	1,191,526	757,822	433,704	講師料、材料代、参加費、お茶代、手話通訳、要約筆記謝礼ほか
3	環境美化事業	528,000	420,000	108,000	480,473	421,249	59,224	清掃用具、自動車、草刈り機借用料、除草剤、ゴミ袋、啓発看板、お茶代ほか
4	広報事業	130,000	130,000	0	129,986	129,986	0	印刷代、レンタルサーバー、リース料、デジタル化委託料
5	交流館拠点事業	80,000	80,000	0	86,047	86,047	0	材料代、印刷代、講師謝礼、文具
6	まちづくり推進委員会運営事業	154,127	154,000	127	93,080	92,606	474	印刷代、事務用消耗品、会議用お茶代、通信費、会費
7	学区連携事業(福山東部文化フェス)	15,000	15,000	0	15,000	15,000	0	学区連携事業団体会費
合 計		2,587,627	1,902,000	685,627	2,510,558	1,902,000	608,558	
繰越金(今年度)		0	0	127	692	0	692	

2025年度 春日学区（町・地区）地域まちづくり推進事業 事業内容報告書

事業番号	事業名（内容）	詳細 （実施年月日、場所、参加人数など）	課題に対する成果	今後の改善点・課題	事業の振り返りをした場
1	安全・安心事業	<p>① 啓発標語を募集、横断幕を作成・掲揚した。 8月：春日小、培遠中 各60人</p> <p>② 「飛び出し注意」看板を作成し、学区内の要注意箇所に設置した。 学区内要注意箇所 8枚</p> <p>③ 各自治会・町内会において、初期対応訓練、防災マップ作製やビデオ視聴等を実施した。団体長による避難所設置訓練を実施した。</p>	<p>① 自分達の取り巻く課題に対し、防犯標語により、意識向上出来た。</p> <p>② 自治会・町内会から設置希望のある要注意箇所に看板を設置し、注意喚起できた。</p> <p>③ 自分たちの住む地区の危険箇所の把握やビデオ視聴により、防災意識の浸透が図れた。</p>	<p>① 複雑かつ多様化する犯罪から児童、生徒を守るため、継続する。</p> <p>② 要注意箇所に児童等の交通事故防止に向けた、看板設置を行い、意識向上を行う。</p> <p>③ 役員や一部住民だけでなく、より多くの住民へも広く防災意識を持つような訓練の実施。</p>	安心・安全部会
2	ふれあい事業	<p>① スポーツを通して、地域・世代間の交流を図った。 10月：春日小 800人</p> <p>② 演芸発表、作品展、模擬店を開催し、多くの人で賑わった。 11月：春日小 900人</p> <p>③ ハラ花壇整備や昔の遊び道具を通して、児童と高齢者の交流を図った。11月：春日小 50人</p> <p>④ 映画監督の講演を通して、介護の大変さを自分に置き換えて考えた。 5月：春日小 160人</p> <p>⑤ ウォーキング、クイズ、健康体操を行い、健康増進を図った。 1月：学区内・交流館 360人</p> <p>⑥ とんどや書きはじめ、地域にまつわるクイズによる交流を図った。 1月：春日小 400人</p>	<p>① スポーツを通して、地域・世代間・小学校との交流が図れた。</p> <p>② イベント・展示等を通して多くの住民参加により、団体間の連携強化が図れた。</p> <p>③ 昔の遊び道具を通して、世代間交流を行い、相互理解を図れた。</p> <p>④ 高齢者等の家族介護のあり方やその大変さが理解できた。</p> <p>⑤ 友人・家族・地域の人達と自然にふれあいながら、春日の良さや歴史を知ることが出来た。</p> <p>⑥ 「とんど」を通して地域の歴史を知りコミュニケーションが図れた。</p>	<p>① 地域・世代間の繋がりが希薄になっており、多くの参加が計れる内容を図る。</p> <p>② 各種団体の人材不足による組織存続が危うくなっており、参加しやすい内容を目指す。</p> <p>③ 核家族化によりこどもとお年寄りと接する機会を図る。</p> <p>④ 要介護者を抱える家族の課題を知り、家族介護のあり方を理解していく。</p> <p>⑤ 地域と地域住民の交流と健康増進が図れる内容に努める。</p> <p>⑥ 地域に残る行事継承と学区民のコミュニケーションを図る。</p>	ふれあい交流部会 福祉部会

〔様式12〕

		⑦ モルック大会を開催し、世代間交流を図った。 3月：春日小 150人	⑦ 誰でも楽しめるモルックを通して、地域住民の交流が図れた。	⑦ 世代間の繋がりが希薄になっており、競技を通して交流を継続していく。	
3	環境美化事業	① 学区内全域で道路・側溝等の清掃活動を行った。 5月、9月：学区内全域 2,500人 ② ゴミ袋配布、啓発用看板を設置し学区内の環境美化に努めた。 通年：学区全域 200人 ③ 交流館の清掃活動により環境美化に努めた。9月、12月3月、計25人 ④ エヒメアヤマ繁殖地の清掃・樹木伐採等を行い、保護活動に努めた。	① 清掃活動の実施により、学区内の環境美化が図れた。 ② ゴミ袋配布によるゴミの分別や看板設置により、不法投棄の啓発が図れた。 ③ 日頃利用する箇所の清掃活動により、環境美化・整備が行えた。 ④ 地域の景勝地保護に向けて、地域での活動ができた。	① 学区内での環境美化のため、継続していく。 ② ゴミ分別や不法投棄禁止に向けた活動を継続していく。 ③ 利用者による清掃活動を継続する。 ④ 今後も地域での取り組みとして継続していく。	コミュニティ・環境部会
4	広報事業	広報誌「春の日だより」を発行し、学区内の各種状況発信を行った。 年4回：2,500部配布	各種講座の活動紹介や行事内容の情報を提供し、共有が図れた。	学区内で各種団体が行っている活動の周知。	広報委員会
5	交流館拠点事業	交流館を拠点に各種交流会を開催し、地域住民の交流を図った。 通年 子ども：4回、一般：3回	各種交流会を通して、人間関係の構築を図り、新たな活動に繋げた。	地域住民間の繋がりが希薄になってきているため、交流を図る。	総務部会
6	まちづくり推進委員会運営事業	役員会、定例会、各種専門部会を開催し、意見交換を行った 通年：春日交流館	学区内の各種団体が抱える課題の解決に向けて意見交換、情報提供が出来た。	学区内の各種団体の抱える課題の解消を図る。	総務部会
7	学区連携事業（ふくやま東部文化交流フェスタ）	ふくやま東部文化交流フェスタへ参加 2月：東部市民センター 5名	東部地区の各学区との連携強化が図れた。	東部地区の各学区との更なる連携強化が必要	総務部会

監 査 結 果

2025年度（令和7年度）春日学区地域まちづくり計画推進事業の決算について、証拠書類及び関係帳簿の監査をいたしました結果、正確かつ適正に事務処理が行われていることを確認しました。

2026年（令和8年） 3月 31日

春日学区まちづくり推進委員会

監 査 高木明男

監 査 中村英生

監 査 滝本道代